

## 新しい文化財が仲間入り～令和2年度国指定等文化財～

文化財課

## 令和2年度国指定等文化財

令和2年度は、新たに国指定文化財等として3件が答申されましたので紹介します。

## ■ 記念物（天然記念物1件、11月答申）

みぞのくちどうけつ

## 溝ノ口洞穴（曾於市）

溝ノ口洞穴は、曾於市の溝ノ口川上流に位置する全長約209mの洞穴で、火砕流堆積物（鹿児島湾北部に位置する始良カルデラから、約3万年前の噴火によって発生した入戸火砕流堆積物。シラスとも呼ばれる。）中に形成されたものとして国内最大級です。

洞穴内部及び周辺の堆積層には、元の谷部に火砕流が厚く堆積し、高温状態が長く維持された中央部が溶結し、堆積物中のガスを上方に逃がした痕跡が残っています。一方、洞穴の形成は、非溶結部において侵食と崩落が繰り返され、洞穴が成長したと考えられています。

このように、溝ノ口洞穴は火山国日本の地形発達を現す貴重な例であると言えます。



洞穴の入口



ガスが吹き抜けた痕跡

提供：曾於市教育委員会

## ■ 登録有形文化財（建造物）（2件、11月答申）

えんどうけ じゅうたくしゅおく

## 遠藤家住宅主屋（西之表市）

西之表市の中心部に建っています。近世の建築とみられる土間及び床上部二列四室の正面に続き間座敷、西に医院部分を増築しています。

主体部は切妻造棧瓦葺で、増築部は赤土の壁に縁側の天井を曲面とするなど数寄屋風の造作をみせています。

伝統家屋に近代和風の要素を加味した住宅です。



提供：西之表市教育委員会

いわもとけ じゅうたくしゅおく

## 岩元家住宅主屋（南さつま市）

海沿いの秋目麓集落入口に位置するもと網元の住宅です。

主体部は入母屋造棧瓦葺で通りに妻を見せ、南側に倉庫を建てて間を門口としています。

外壁は縦板張で、内部は二列四室の北に六畳を張り出しています。主座敷は床の左右に床脇と仏壇を設ける。

集落のランドマークとなる伝統民家です。



提供：南さつま市教育委員会